

～古賀院長エッセイ～

次代への風



脳神経の環境保全

脳神経の活動は、内外の様々な環境により刻々と変化します。健全な脳神経の活動を促すためには、神経にとっての環境を整えることが必要です。

脳神経外科の仕事は、外科的に神経の環境を改善することであり、脳神経を作り変えたり、作り出したりする仕事ではありません。神経活動を阻害する様々な要因を調べて、取り除く、そのための検査、手術です。脊椎の椎間板ヘルニアも神経が圧迫されて悲鳴をあげているから、助けに行くのです。脳神経は、環境次第で成長したり枯れたりする植物みたいなものです。成長の妨げになる岩や石ころを注意深く取り除いてあげることが、外科療法です。そして改善された環境の中で、傷んだ脳神経の回復を促進することがその他の治療やリハビリです。

植物に水や光や栄養が必要なように、脳神経にも適切な養分が必要です。植物に急いで花を咲かせなさい、実をつけなさい、などと理不尽なことを言わないように、脳神経にも頑張りなさい、とは言ってはいけません。良かれと思って頑張っていることが、逆効果なこともあります。脳神経を健全に保つには、その人自身の取り組みが何よりも重要です。

ここでは、私自身が取り組んでいる、脳神経の環境保全方法を時々紹介しています。